

新幹線輸送による大隅のさかなフェア ～コロナ禍における輸送連携を活用した百貨店でのPR～

令和4年1月15日 大隅地域振興局

大隅半島の漁協と市町，県でつくるおおすみ水産振興協議会は，1月12日（水）～15日（土）にかけて，関西の阪急阪神百貨店4店舗（うめだ本店・千里・西宮・宝塚）の鮮魚コーナーにて，新幹線輸送を活用したフェアを開催しました。

コロナの影響で航空便が減り，都市部への高速輸送ができなくなるなど，大隅半島の水産業は大きな影響を受けました。

このような状況下でも，新鮮で美味しい魚を都市部へ届けるため，佐川急便及びJRの協力により，新幹線による高速輸送を試験的に実施しました。

大隅から出荷した場合，通常2日後に大阪の店頭で並ぶところが，1日短縮することが可能になり，購入客や鮮魚コーナー担当者からは「鮮度が全然違う」と好評をいただきました。

今回のフェアでは，天然魚各種（内之浦産），養殖ブリ（牛根・垂水・根占産），養殖カンパチ（鹿屋産），養殖ヒラマサ（根占産）を取り扱いました。

フェア期間中，大隅産の鮮魚は，すべて当日中に完売し，大盛況だったとのことでした。

今回のフェアをきっかけに，コロナ禍での新たな輸送ルートと販路の開拓に繋げていきたい狙いがあります。



